## 東京武蔵村山ロータリークラブ №2259回 例会報告

2018~19年度R / 会長 バリー・ラシン 第2580地区ガバナー 松坂 順一(東京葛飾東RC)



# Weekly Repo



東京武蔵村山RC 第47代クラブ会長

倉内 淳

第2260回例会 2019年3月20日 国際ロータリー第2580地区

東京武蔵村山RC テーマ

『親睦・研修・実践』 基本に立ち返り、素晴らしいロータリーライフを!

### 本日の例会

「モンゴルという国」

卓話 榎本昭 会員

#### 2018~19年度RIテーマ



次回の例会

観桜会  $3/30 (\pm)$ 

【第2259回例会週報】2019年3月15日(金)

TRC合同例会 東村山市民ステーション サンパルネ コンベンションホール









ソングリーダー 東京東村山RC 野澤 厚子 会員

東京東村山RC 田中 重義 会長

各クラブ会員の皆様 東村山へようこそ お越し下さいました。 私は13年前55歳の時にRCに入会しま した。当初入会の予定はありませんで いた。当初入会の予定はありませんでしたが、米山奨学の卓話を聞いて感動して入会しました。本日お越しのクラブの皆様とはTRCを通し親睦が図れ家族のようです。本日は会員増強がテマです。宜しくお願いします。



田中重義会長挨拶の中で 故 見延壽昭会員の黙祷を出席者 全員で執り行われました。



東京東大和RC 尾崎 誠 会長 桜が待ち遠しい時季となりました。 又、花粉症で悩んでいる方も多い ようですので、健康に留意して頂 けれまずの全国場合、全体がよる 3クラブの合同例会、今年も楽しみにしていました。毎年継続しての 開催素晴らしいと思います。 今年も楽しみ



東京武蔵村山RC 倉内 淳 会長 見びは、 見延会員の黙祷ありがとうございました。見延会員は47年目の禁チャーター大ンバーで当RCの歴史そのもつでである。 見延会員は47年目のだチャーターと、通夜・6別式のご参列併せて同じます。 見延会員の意志を引き継いでゆきたいと思います。 本日は、会員増強がテーマと聞いています。吉田雅俊パストガバナー宜しくお願い致します。





出席報告 東京東村山RC 北久保 隆一 例会運営副委員長



卓話講師紹介 東京東村山RC 野崎 一重 会員



## 「ロータリーの歴史と会員増強」 地区拡大増強委員長 吉田 雅俊 パストガバナー

仮説でありますが、拡大増強の推進には経済成長と社会背景が大きく関わっていました。拡大&増強をするには社会的背 景を考え、現状把握と対策を講ずる必要があります。歴史からみると第一次世界大戦前後の産業構造の変化がもたらす影 響は大きく、特にアメリカにおける爆発的経済成長がロータリー発祥に大きく影響しました。①第一次世界大戦では、ア メリカは埒外で軍需景気に沸き、産業革命後の鉄道と鉄鋼が、産業構造の変化をもたらす時代背景があった。②特に相互 扶助が注目されるようになったのは、産業革命以後に様々な社会問題が発生するようになった後である。③産業革命によっ てこれまで存在した相互扶助の形態が解体され、これに代わり得るものを人為的に組織する必要が生じた。④市場経済の 成長に伴い、その健全な成長には、信頼関係に基づく統一された基準と職業モラルが強く求められるようになった。⑤高 潔性とか職業倫理というロータリーにおける職業奉仕の理念は、新鮮で魅力的なものとして大いに受け入れられた。⑥新 しい形の相互扶助もその一つである。以上のような社会状況の結果、一業一社の仲間造りがもたらすロータリーの様な信 頼関係と相互扶助は、当時の地域市場経済を担う人々に大いに受け入れられました。社会的ニーズが行動の源泉とすれば、 発展途上国に於いては、成功の象徴としてのステータスであるロータリアン、そしてかつての先進国の経済成長のメカニ ズムが現在進行中である。先進国におけるロータリーの成長停滞は、社会の成熟度上経済成長に整合しています。行動は 優先度によって決まるし、優先度は重大性より緊急性によって決まる。この点を踏まえて、今後の日本におけるロータリー 活動を考え、更に当2580地区の拡大増強を考えるべきであると思います。近年RIは、若い世代と女性会員の増強に力を 入れており今年度のR I 会長もこれを強調しています。女性会員のシェア世界で20%、当地区6%、日本全体5%。 会員の増強について衛星クラブを活用して下さい。衛星クラブの会員は、積極的にスポンサークラブの各種親睦活動への 参加、奉仕活動への参加、合同例会等を行うことで、RCに対する理解が進むと考えます。地域ぐるみでRCを活動して いくことが大切です。会員が減少していくと運営が不可能になってしまうので、若い会員の入会も重要です。RCの素晴 らしさは、10年、20年経つと実感することができます。クラブが共同で運営するのも良いと思います。是非、多摩地域か ら衛星クラブを作ってください。増強がRCの目的ではありませんが、活動を活性化するためには会員増強必須であるた めです。私のクラブの事例をお話します。オープン例会を2~3ヶ月に1回開催し卓話に講師を依頼、30分の卓話ですがゲ ストを招待して食事代はクラブ持ちで、講師はバレーボールの真鍋元監督等、誰でも知っている興味を持ってもらえる方 を選定をします。テーマは、チームワークについての話を中心にお願いします。毎回20人~30人のゲストを募集し名刺交 換会を実施し、普段の例会にも招待をしています。1回のオープン例会で2~3名の入会があり、会員数40名から70名に増加しました。友人と一緒に入会するケースが多いようです。入会後も同じ年代の会員が食事をしたり、退会したいという会員が出たいようにフォローをしています。またでは一般などは、1000年代の会員が食事をしたり、退会したいという会員が出たいようにフォローをしています。またでは一般などは、1000年代の会員が食事をしたり、退会したいという 会員が出ないようにフォローをしています。また、地区に出向した時は、他のクラブの成功事例を聴取してきて「こうい うことをやってみよう」とか活動の参考にしています。ケアされっぱなしでもお客様扱いになってしまうので、新入会員 は親睦と決めないで、得意なことや興味があることを聴取して、役割分担し若手の力を発揮させています。職業奉仕を過 大に考えてしまっている傾向が昔はありました。今の時代にあった取り組みも必要だと思います。多様性の時代なので、 すべて同じにする必要はない。各クラブの特長を持って活動することが大切です。しかし、それを負担の軽減等を実施し たRCのほとんどが失敗しています。前向きに柔軟性を持って活動することが大切だと思います。多摩分区の個性を発揮 して幅広い活動を心掛けていただければと思います。















懇親会 司会進行 東京東村山RC 岩原 隆 クラブ管理委員長



乾杯 東京武蔵村山RC 藤野 豊 ががナ補佐 今回の例会で親睦を深めると共に、吉田が入ががナの卓話を参考に会員の増強を図って行きましょう!!



乾 杯!









次回ホストクラブ会長挨拶 尾崎会長・安部次年度会長









事務局の皆様お疲れ様です。



手に手つないで♪









比留間重次会員の歌で懇親会が盛 り上りました!





閉会の言葉 東京東村山RC 山本 智治 副会長